

都市再生整備計画

ひがしおおさか や え さとしゅうへん ち く
東大阪八戸ノ里周辺地区

おおさか ふ ひがしおおさか し
大阪府 東大阪市

平成28年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	大阪府	市町村名	ヒガシオオサカ市 東大阪市	地区名	ヒガシオオサカ ヤエノサト、シユウヘンチク 東大阪八戸ノ里周辺地区	面積	335 ha
計画期間	平成	28	年度	～	平成	31	年度
				交付期間	平成	28	年度
						～	平成
						31	年度

目標

- 大目標:文化と芸術を生み、育む夢と活力あふれる元気都市の実現
 目標1:魅力ある文化芸術の創造、発信、交流拠点の形成による地域活力の向上
 目標2:にぎわいのある滞留空間及び、うるおいとやすらぎを感じることができる回遊性の高い歩道空間の確保

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

東大阪市では、「第2次総合計画後期基本計画」(平成22年)において、「夢と活力あふれる 元気都市・東大阪」を将来都市像とし、これを受けて策定された「都市計画マスタープラン」(平成25年)では、「都市間や地域間のむすびつきを強め、人・モノ・情報の交流をさかんにする」「水・みどり・歴史のネットワークを形成し、都市内にうるおいを導入する」「いきいきと暮せる安全で快適な生活の場と創造性あふれる活力ある生産の場を形成する」「将来の都市のカチを市民みんなでえがき、得意の分野で持てる力をだしあって実現する」の4つの基本方針を掲げ、都市づくりを進めている。

東大阪八戸ノ里周辺地域には、近鉄奈良線八戸ノ里駅周辺1.5km圏内に近畿大学・大阪商業大学・大阪樟蔭女子大学・東大阪大学の4つの大学をはじめ、多くの学校施設があり、司馬遼太郎記念館や田辺聖子文学館などの文化施設も集積し、東大阪市の教育・文化のシンボリックな地域となっている。このような地域の持つ素晴らしい資源の更なる活用や連携、そして新たなまちづくりルールを策定(地区計画)すること等により、地域ににぎわい、うるおい、やすらぎが創出されることを目指している。

また、「東大阪市公共施設再編整備計画」(平成25年)では、施設の集約化や複合化により、総量縮減とともに市民サービスの向上を目指しており、老朽化や耐震性能に課題を有する旧市民会館及び旧文化会館を当地域の中心となる近鉄奈良線八戸ノ里駅から北へ約200mの旧市立中央病院跡地に集約し、複合施設として新市民会館を整備する計画となっている。

一方、新市民会館建設予定地の周辺エリアにおいては、「都市計画マスタープラン」が掲げる4つの基本方針に基づき、「文化と芸術を生み育み発信する場づくり」「文化的環境と調和したにぎわいの創出」「うるおいとやすらぎの創出」「住みよい環境の整備」をまちづくりの方針とし、店舗等のにぎわい施設や、緑化の整備、安全・安心な道路空間整備等が進むよう地区計画決定を行っており、官民が連携したまちづくりの実現を目指している。

課題

- ・情報発信力が弱く、「学生のまち」や「文化芸術のまち」としての知名度が低い。
- ・人が憩い、交流し、滞留するために必要な機能が不足している。
- ・交流拠点となる新市民会館周辺の歩行空間が不十分である。
- ・来訪者を総合的に案内する環境が不十分である。

将来ビジョン(中長期)

- ①第2次総合計画後期基本計画(2011-2020)(平成21年度策定)
- ・地域の文化的資源を体系的に把握し、魅力ある文化情報として活用及び発信していく
 - ・既存の文化施設をネットワーク化し有効活用するとともに、市民の文化活動の拠点やコミュニケーションの場などにもなるように複合型施設の整備に取り組む
 - ・市民文化活動の促進、支援や、文化の担い手となる人材の発掘、育成に取り組み、市民の多様なニーズに応じた文化に親しむ機会を提供する
- ②都市計画マスタープラン(2013-2030)(平成24年度策定)
- ・商業・娯楽・教養・文化等さまざまな機能の集約的複合的な立地をすすめ、回遊性がある休憩・交流等ができる空間をあわせもった、安全で快適な歩行者空間を整備するなどの魅力的な拠点の形成
 - ・文化・スポーツ・レクリエーション施設の立地をすすめ、イベント等が開催できる空間や施設を設置するなど、都市間の広域的な交流機能を高める
 - ・広幅員の歩道の設置やバリアフリーなど歩行者・自転車等を優先する整備をすすめ、建物の壁面後退や沿道の緑化につとめるなど、ゆとりとうるおいを創出し、回遊性の高い歩行者ネットワークを形成する
 - ・公共施設や公民館などを活用した交流場所を確保しながら、地域交流イベントを開催するなど交流機会を創出して、地域コミュニティの活性化につとめる
 - ・拠点周辺のバリアフリー化や違法駐車・迷惑駐車・放置自転車の対策をすすめるとともに、道路拡幅や歩道設置、自転車歩行者専用道路の整備など、拠点へのアクセスを改善

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値
				基準年度	目標年度
新市民会館利用率	%	新市民会館の利用時間枠による利用率	魅力的な交流拠点となる複合施設の整備及び情報発信により、市民の文化活動が活性化し、賞館施設の利用時間枠による利用率が増加する	48%	55%
歩行空間の利用者数	人	新市民会館周囲の歩行空間における日中通行者数	居心地の良い滞留空間及びうるおいとやすらぎを感じることができる回遊性の高い歩道者空間の確保により日中通行者数が増加する。	5,400人	6,850人

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【魅力ある文化芸術の創造、発信、交流拠点の形成による地域活力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民会館及び文化会館を市立中央病院跡地に集約し、ホール系部門、創造・交流支援系部門、にぎわい・交流部門、共用・管理部門を備えた複合施設としての新市民会館を整備する。 ・地域の持つ素晴らしい資源の更なる活用により、地域活力の向上を図るため、近鉄八戸ノ里駅構内に周辺文化施設等の情報を伝える案内板を整備する。 ・来訪者等への情報発信をさらに充実するため、近鉄八戸ノ里駅周辺の文化施設等を紹介する周辺マップ、パンフレット等の作成を行う。 ・新市民会館の開館に先立ち、周辺地域においてプレイベントを開催し、開館後の地域活力の向上に向けたPR活動を行う。 	<p>【基幹事業】（高次都市施設 地域交流センター）新市民会館整備事業</p> <p>【基幹事業】（地域生活基盤施設 情報板）近鉄八戸ノ里駅構内情報板整備事業</p> <p>【提案事業】（地域創造支援事業）周辺文化施設マップ作成事業</p> <p>【提案事業】（地域創造支援事業）新市民会館開館プレイベント開催事業</p>
<p>【にぎわいのある滞留空間及び、うるおいとやすらぎを感じることができる回遊性の高い歩道空間の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民が集い、滞留し、交流できる屋外緑地を新市民会館敷地に整備する。 ・新市民会館の屋外緑地や植栽との一体感により、うるおいとやすらぎを感じることができる回遊性の高い歩道空間を整備するとともに、新市民会館周辺の歩行者等の安全確保に必要な道路拡幅整備を行う。 ・新市民会館の屋外緑地やオープンスペース等を活用し、一時避難スペースや備蓄倉庫等の防災機能を整備する。 	<p>【基幹事業】（地域生活基盤施設 緑地）新市民会館整備事業</p> <p>【基幹事業】（高質空間形成施設 緑化施設等）新市民会館整備事業</p> <p>【基幹事業】（道路）新市民会館周辺道路整備事業</p> <p>【基幹事業】（地域生活基盤施設 地域防災施設）新市民会館整備事業</p> <p>【提案事業】（事業活用調査）今後のまちづくりを検討するための事業効果分析調査（新市民会館周辺通行量調査）</p>

その他

※当地区周辺における協働型のまちづくりの進捗状況の補足

【官民協働の取り組み事例】

- ・「魅力ある文化芸術を発信するにぎわいとやすらぎが調和した文化薫るまち」を目標に、新市民会館を含む周辺地区の地区計画を決定（平成27年12月）
東部大阪都市計画地区計画(御厨南二丁目地区)

【官学協働の取り組み事例】

東大阪市地域研究助成金事業

- ・学生が考える新市民会館整備に伴う計画予定地の賑わい創出方策についての研究（平成26年度 大阪樟蔭女子大学）
- ・建設予定地における「学生のまち東大阪」のイメージと賑わい創出方策についての研究（平成27年度 近畿大学）

都市再生整備計画の区域

<p>東大阪八戸ノ里周辺地区(大阪府東大阪市)</p>	<p>面積</p>	<p>335 ha</p>	<p>区域 若江西新町三丁目から五丁目、西堤学園町一丁目から三丁目、御厨西ノ町一丁目及び二丁目、御厨一丁目から四丁目、御厨中一丁目及び二丁目、御厨南一丁目から三丁目、御厨栄町一丁目から四丁目、菱屋西三丁目及び四丁目、小阪一丁目から三丁目、小阪本町一丁目、下小阪一丁目から五丁目、中小阪二丁目から五丁目、宝持一丁目から四丁目、上小阪四丁目、東上小阪、新上小阪、小若江三丁目</p>
-----------------------------	-----------	---------------	---

